

H23.2 撮影 改修中の御影堂

御供養の納入方法について

このたびの特別御供養は、平成23年12月に、法華講支部ごとにまとめて総本山へ奉納することになっています。詳しい内容は後日お知らせいたします。

総本山総合整備事業

特別御供養 について



総本山三門



新築中の常来坊



バスターミナル南側交差点改良工事

H23.2

このたび、記念局として御影堂大改修をはじめ、総本山総合整備事業完遂のため、第四回目の特別御供養を勧募することになりました。
法華講員各位には、自らの信心を奮い立たせ、この浄業に参加して、現当二世にわたる福德を積まれますようお願いいたします。

総本山伽藍の大事

このたびの特別御供養は、総本山の歴史を伝える中心伽藍・御影堂を永く護り伝え、また総本山を総合的に整備するためのもので、そこには重大な意義が含まれています。

御供養の大事

日蓮大聖人は、御供養の大事について、

「法華経をしれる僧を不思議の志にて一度も供養しなば、悪道に行くべからず。何に況んや、十度・二十度・乃至五年・十年・一期生の間供養せる功德をば、仏の智慧にても知りがたし」(『新池御書』御書一四五六頁)

と仰せになり、日蓮大聖人・大御本尊に真心から御供養を申し上げる人は、かならず無量の功德を得ることができると教えられています。

さらなる御報恩を

五濁悪世の様相を示す昨今、私たちは日蓮大聖人への御報恩を尽くすため、折伏実践に立ち上がり、御影堂大改修をはじめとするすべての事業が成就できるよう、真心から御供養を申し上げようではありませんか。



(上) 銅板瓦解体前
(左) 銅板瓦解体後



改修前御影堂